【E：健康を守るため】

　33ページから35ページ

　薬の使用及び治療使用特例（1）薬の使用に関して。

薬を使用する前に、禁止物質や禁止方法でないかの確認が必須。薬の確認には、専門的な知識が必要な場合があるため、アンチ・ドーピングの知識を持つ専門家（医師・薬剤師等）と一緒に検索し、その記録をしっかり残しておこう。

▶この章の目標

1. 治療を受ける前に、アンチ・ドーピングのルールを医療関係者に正しく説明できる。
2. 厳格責任の観点から自身の責任で薬の確認をしたり、専門家に相談ができる。
3. 相談内容と検索結果をなぜ保管するのか、自分の言葉で説明できる。

▶健康を守るために！アスリートの権利と責務。

* 権利：アスリートには適切な治療を受け、自身の健康を守り、スポーツに参加する平等な権利がある。禁止物質・方法がどうしても必要な場合には、TUE申請が可能。
* 役割と責務：アスリートは体内に摂り入れる物全てに責任を持つ必要がある。専門家に確認、自身の行動を記録し、いつでも証明できるようにする責務がある。

▶医薬品を使用する前に。

医薬品に禁止物質が含まれているか否かは、アンチ・ドーピングの知識を持つ専門家への確認と、検索ツール：グローバルDROを活用することで、確認することができます。クリーンスポーツ行動として確認した内容は保管。いつでも証明できるようにしましょう。

* 専門家（医師・薬剤師等）へ：

①相談

②一緒に確認。

※スポーツファーマシスト：最新のアンチ・ドーピングに関する情報を持つ薬剤師。病院、薬局、ドラッグストア等に在籍。

* Global DROで：

①検索。

②結果を確認、保管（PDF）。

※Global DRO：薬の成分名・商品名で禁止物質の有無が確認可能。検索結果は、PDFで必ず保管をしよう。※サプリメントや漢方薬は検索不可。

▶病院で診察を受ける時：医師に伝え・行動すること。

1. 伝える！：自分はアスリートであること。スポーツで禁止されている物質・方法があること。
2. 案内！：最新の禁止表。グローバルDRO。ジャダ医療サイト。
3. 確認！：禁止物質・方法以外での治療が可能かどうか。

▶薬局で薬を購入する時：薬剤師に伝え・行動すること。

1. ＜薬局に行く前＞スポーツファーマシストがいる薬局を検索。
2. Global DROで一緒に検索。薬の成分が禁止されているか確認。
3. 検索結果をPDFで保管。メールで共有。
4. 薬剤師のアドバイス、Global DROの検索結果をもとに、アスリート自身で購入判断

▶Q&A：専門家に聞いてみよう！

＜目薬・塗り薬編＞

アスリート：なんだか目がかゆいな。

スポーツファーマシスト：大丈夫？

アスリート：うん。目薬を使うから大丈夫！

スポーツファーマシスト：ちょっと待って！禁止表は確認した？

アスリート：えっ目薬も確認が必要なの？

スポーツファーマシスト：そう！飲み薬や注射だけじゃなく、目薬や塗り薬、貼りぐすりも禁止物質・方法の対象になるのよ！

アスリート：危なかった…。

スポーツファーマシスト：一緒にグローバルDROで確認しましょう！

アスリート：ありがとう！

＜漢方薬編＞

スポーツファーマシスト：風邪の具合は大丈夫？

アスリート：うん、家で休んでるよ。そういえば、禁止物質の確認をお願いしたい薬があるんだけど…。この漢方薬（漢方薬の写真）。一緒にグローバルDROを見てくれるかな？

スポーツファーマシスト：漢方薬は「生薬」といって、動植物由来の薬なの。自然の物だから、含まれている物全ては分からないのよね。残念だけど、禁止物質が入っていないと断言できないわ。

アスリート：そうなんだ！「生薬」だと成分表を見て禁止物質が書いていなくても、思わぬ物質が入っていることもあるんだね。

スポーツファーマシスト：ただし、漢方薬の中には、禁止物質が入っていると明確にわかっている物もあるの。だから、必ず相談してね！

▶36ページから39ページ

　薬の使用及び治療使用特例（2）TUEに関して。

病気やケガの治療のために禁止物質や禁止方法が必要な場合には、「治療使用特例（TUE）」を申請し、承認されれば特例として使用できる。TUEが承認されなかった場合、その禁止物質・禁止方法の使用を続けることは、アンチ・ドーピング規則違反となる。

▶この章の目標

1. 自身の「アスリート・カテゴリー」を理解し、いつまでに・どこへTUE申請をすれば良いのか適切に判断できる。
2. 正しいタイミングで、不備なくTUE 申請の手続きができる。

▶TUEを取得するための条件。

TUE を取得するには、アスリートが以下の全ての条件を満たすことを証明する必要があります。

1. 適切な臨床的証拠にもとづく診断であること。
2. 健康を取り戻す以上に競技力を向上させない。
3. 他に代えられる治療方法がない。
4. ドーピングの副作用に対する治療ではない。

▶TUE申請のステップ。

TUE はアスリートが自身の権利として申請する手続きです。医師と連携し、アスリートが責任を持って対応する必要があります。

ステップ

1. （申請が必要になる前に確認！）TUE申請の期限と申請先を確認。

自身の「アスリート・カテゴリー」によって、TUEの申請先や期日が異なる。自身がいつまでに・どこへ申請すべきか確認しよう。

1. 国際競技連盟（IF）指定のRTP/TP。

禁止物質・禁止方法の使用が必要な時（都度）、IF指定の窓口へ申請。

1. IFが国際レベルと定義したアスリート（条件はIFによって異なるためIFの公式サイトをチェック）。

原則、大会の30日前までに、IF指定の窓口へ申請。

主要競技大会（オリンピック/パラリンピック等）に参加する場合は、その競技大会の主催者のルールに従う。

1. JADA指定のRTP/TP。※JADAとIFの両方からRTP/TP登録されている場合は1に該当。

禁止物質・禁止方法の使用が必要な時（都度）、JADAの窓口へ申請。

1. 国内最高レベルの競技会参加アスリート※最高レベルの競技会一覧は、JADA公式サイトから確認。

原則、大会の30日前までに、ジャダの窓口へ申請。

ジャダよりTUEが付与されている場合でも、自身のカテゴリーが1や2の「国際レベル」に変更になった場合、再度IFへ申請が必要。

ステップ1 :医師に相談。

自身がアスリートであること。禁止物質・方法を使用せず治療をしたいこと。禁止物質・方法を使用する場合はTUE申請が必要であること。

禁止物質・方法を使用しないで治療する場合はTUE申請の必要なし。

ステップ2 :書類を準備。

最新書式をダウンロード。申請書の記入。

※英語での記入必須。

アスリートが英語で記入：アスリート情報。

医師が英語で記入：医学的情報、根拠となる医療情報（診断所見、検査結果、画像等）。

ステップ3：申請。

アスリート自身が必要な書類を全てそろえ、申請。

ADOによる審査（申請内容に不備、不足があった場合は申請先から連絡がある。申請のための書類がそろったら、審査が始まる）。

ステップ4：判定（審査結果）を受け取る。

TUEの付与または却下の判定書を受領。付与された場合は、物質、用量、付与期間を確認！

※TUE付与がされたら、ADO（アンチ・ドーピング機関）よりADAMSに情報が登録される。

TUEが却下された場合、アスリートは不服申立が可能。

* 国際レベルアスリート。：CAS（スポーツ仲裁裁判所）へ、決定の受領の日から21日以内に不服申立。
* 国内レベルアスリート。：JSAA（日本スポーツ仲裁機構）へ、決定の受領の日から21日以内に不服申立。

▶遡及的TUE。

国際レベル／国内レベルアスリートは、治療のために禁止物質または禁止方法が必要な場合、その物質や方法を使用するまたは保有する前に、申請を行い、TUEを取得しなければなりません。しかし、以下のいずれかに当てはまる時には、遡及的（さかのぼって）TUE申請ができます。（アイエスTUE 4.1条）。

※遡及的TUE申請でも、「TUEを取得するための条件」を全て満たす必要があります。

* ケース1 緊急治療や救急症状の治療で禁止物質や禁止方法を使用した時。

※通常のTUE 申請書類に加え、「緊急性を証明する医療記録」が必須。

* ケース2 国際レベル/ 国内レベル以外のアスリートが、治療を目的に禁止物質・方法を使用した時。

国際レベル/ 国内レベルアスリート以外のアスリートが受けたドーピング検査で、禁止物質・方法が検出された場合、アスリートはADO から連絡を受け、TUE の遡及的申請を行うことができる。

※申請を行わなかった場合、アンチ・ドーピング規則違反に問われる可能性がある。

* ケース3 アスリートが治療目的のために、競技会じにおいてのみ禁止された禁止物質を、競技会外で使用した時。

競技会より前に使用された「競技会じにおいてのみ禁止された禁止物質」がアスリートの体内に残り、競技会でのドーピング検査で、禁止物質が検出された場合、アスリートはADO から連絡を受ける。アスリートは連絡を受けた後、TUEの遡及的申請を行うことができる。

※申請を行わなかった場合、アンチ・ドーピング規則違反に問われる可能性がある。

* ケース4 ドーピング検査を受ける前にTUE申請を提出する、またはその審査を受けることの妨げとなる、時間や機会の不足、またはほかの例外的な事情があった時。

例：予期せぬ感染症拡大により、担当医師のTUE申請書類対応が難しかったなど。

* ケース5 国の政策上の要請や重要課題によって、ADOが検査配分計画において特定の競技を優先させるために、ほかの競技のアスリートからのTUE事前申請に関する検討を差し控える時。

※現在JADAでは適用していない。適用の際には、JADA公式サイトで公表。